

平成30年11月15日（木）
男女共同参画推進連携会議
「経済分野における女性の活躍促進」チーム

どんどん鹿児島 女性の活躍応援団について

～女性の活躍が未来を拓く，鹿児島の実践について～



鹿児島県県民生活局 男女共同参画室
室長 日高 照子

これからの鹿児島は・・・人口の推移

- 204万人（1995年）をピークに減少に転じ，2015年は165万人となり，2045年は120万人になると推計
- 年少人口（0～14歳）や生産年齢人口（15～64歳）は減少する一方，老年人口（65歳以上）は増加

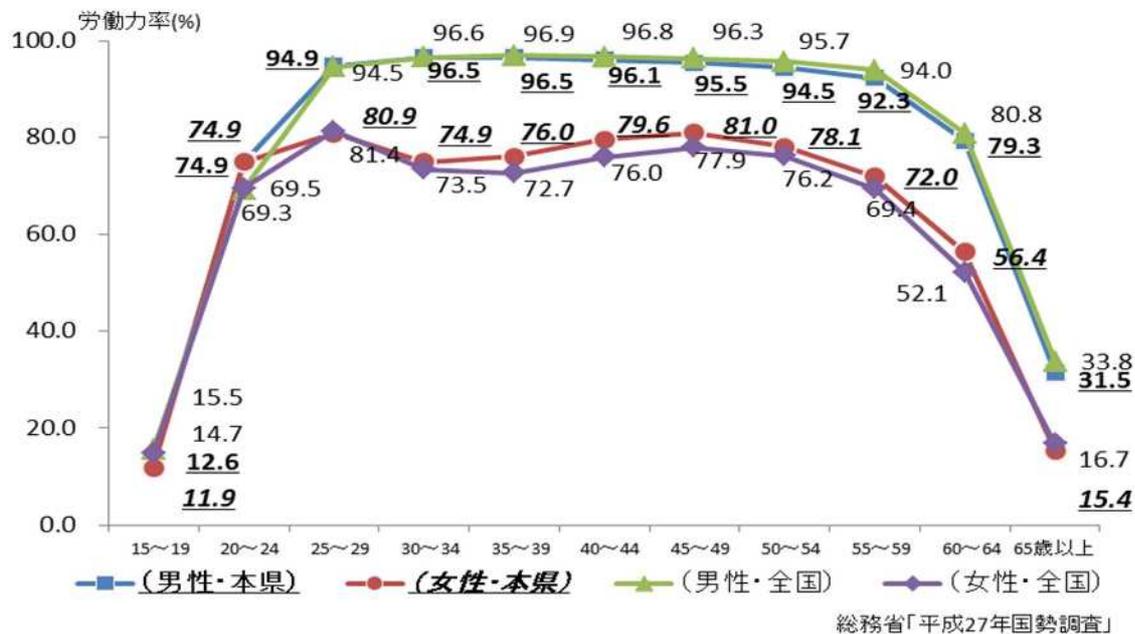
（単位：％）

	S30 (1955)	S60 (1985)	H27 (2015)	H57 (2045)
年少人口	37.0	21.6	13.5	11.6
生産年齢人口	56.8	64.2	57.0	47.6
老年人口	6.2	14.2	29.4	40.8
うち75歳以上	2.0	5.6	16.1	25.3

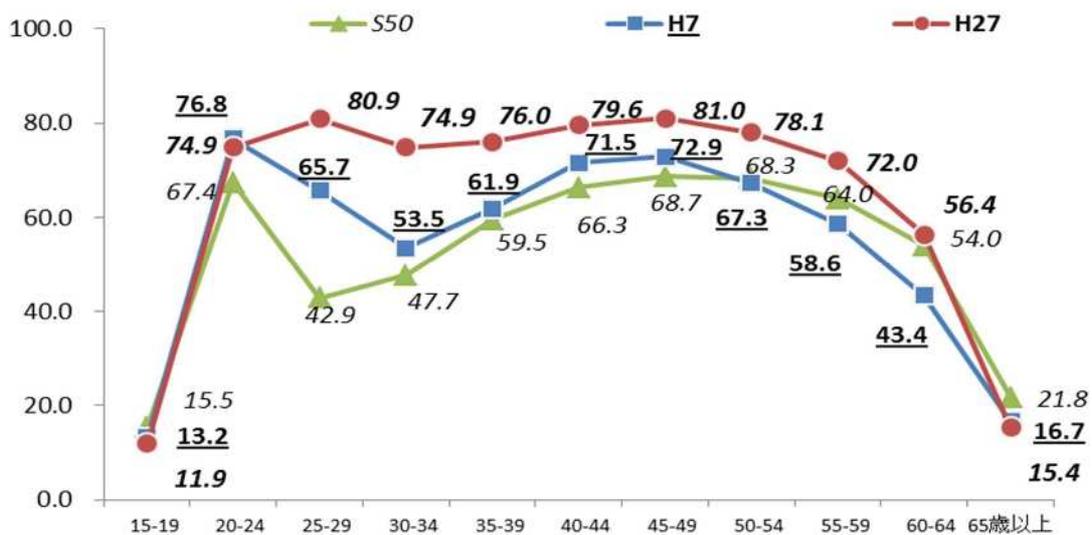
（資料出所）2015年までは総務省「国勢調査」，2045年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成30年3月推計）」

鹿児島島の女性活躍の現状

男女別年齢階級別労働力率 (平成27年) [本県・全国]



労働力率の推移 [本県・女性]

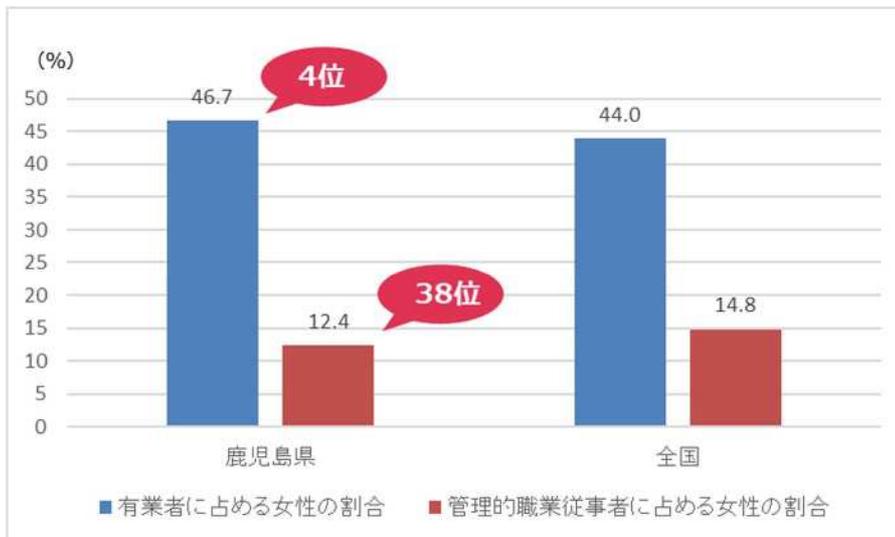


(資料出所) 総務省「国勢調査」よりH7, S50は鹿児島県男女共同参画室が作成。
労働力率は、「労働力人口(就業者+完全失業者) / 「15歳以上人口」 × 100。

参考

本県の子育て期(25~44歳)の女性の就業率は上昇
S55 53.3% → H27 71.4%

有業者・管理的職業従事者に占める女性の割合〔本県・全国〕



(資料出所) 総務省「平成29年就業構造基本調査」

参考

平成28年度鹿児島県女性活躍推進に関する企業実態調査

女性の管理職登用の考え方 (経営者対象)

積極的に登用していきたい 38.0% 特に増やしていく考えはない 47.8%

管理職に就きたくない理由 (女性従業員 (正規雇用) 対象)

自分の能力に自信がないから 50.0% 責任が重くなるのが嫌だから 47.0%

5

労働時間・年休取得状況, 子育て期の男性の家事関連時間

〔本県・全国〕

■ 1月当たりの労働時間 ■

本県 148.0時間 全国 143.4時間

(資料出所) 厚生労働省「平成29年毎月勤労統計調査」

■ 年休取得率 ■

本県 42.9% 全国 49.4%

(資料出所) 本県: 鹿児島県「平成29年度労働条件実態調査」, 全国: 厚生労働省「平成29年就労条件総合調査」

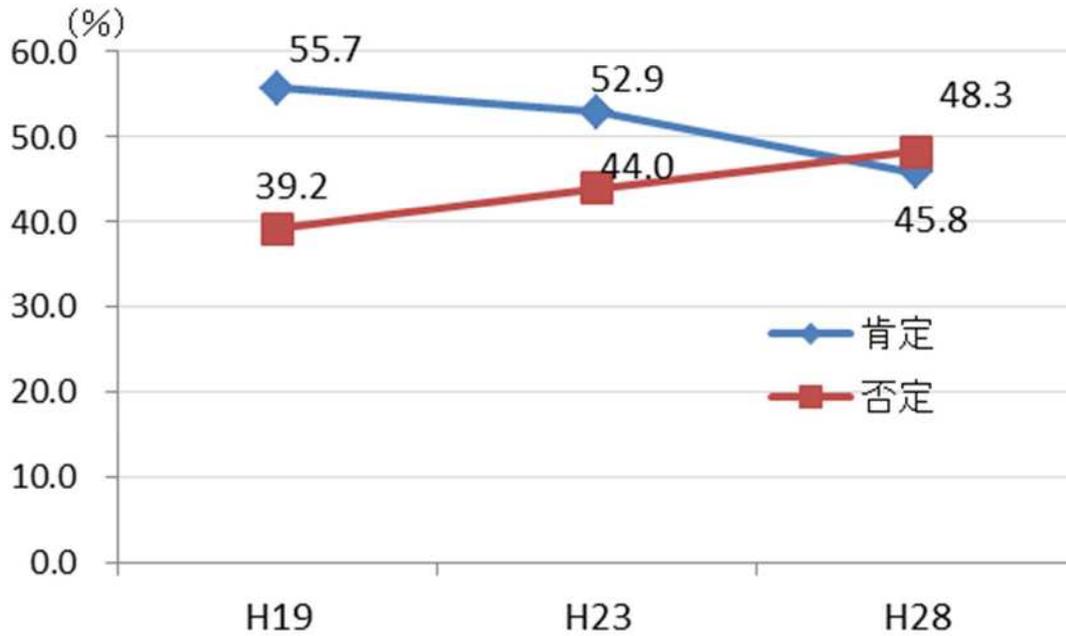
■ 6歳未満の子どもがいる夫の一日当たりの家事関連時間 ■

本県 63分 全国 83分

(資料出所) 総務省「平成28年社会生活基本調査」

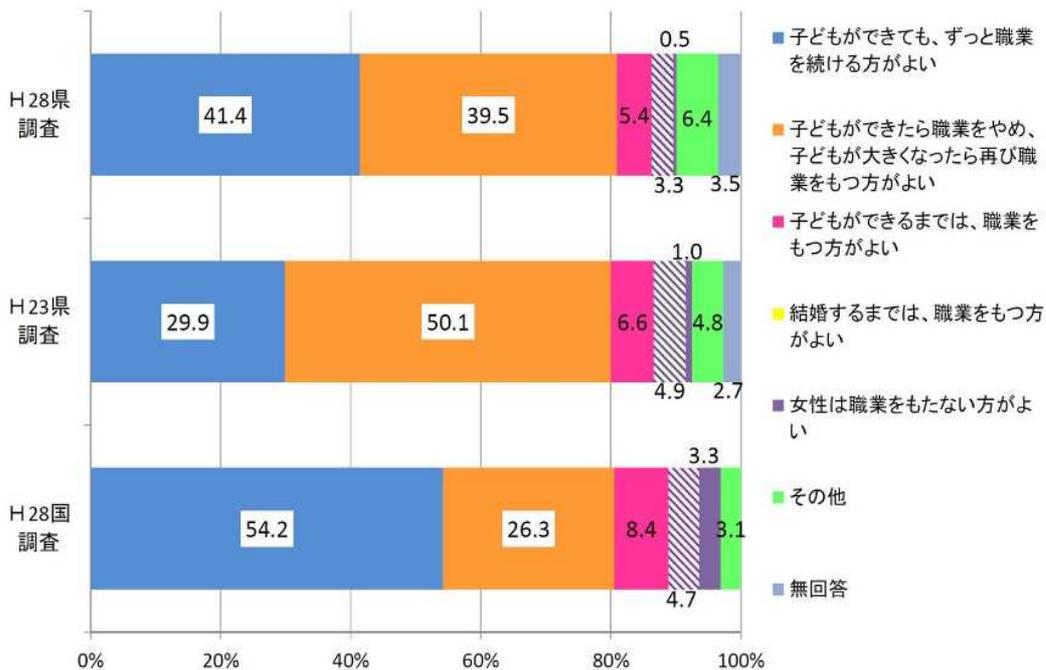
6

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方の推移〔本県〕



(資料出所) 鹿児島県男女共同参画室「男女共同参画に関する県民意識調査」(各年)

女性の就労に関する意識〔本県・全国〕



(資料出所) 鹿児島県男女共同参画室「男女共同参画に関する県民意識調査」
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」

女性活躍に向けた取組

- 平成27年度** 「女性の活躍推進」かごしま県民フォーラムの開催※
- 平成28年度** 鹿児島県女性活躍推進会議の設置とキックオフ宣言採択
かごしま「女性活躍推進事業所」応援大会の開催※
鹿児島県女性活躍推進計画の策定
- 平成29年度** 鹿児島県女性活躍推進宣言企業制度の創設
(登録企業数：45社 (H30.10.1現在))
鹿児島県女性活躍推進優良企業知事表彰制度の創設
女性活躍推進企業トップセミナー等の開催※
- 平成30年度** **どんどん鹿児島女性の活躍応援団の結成**
女性活躍推進フォーラム, 働く女性の異業種交流会等の開催※

※は地域女性活躍推進交付金を活用

9

鹿児島県女性活躍推進計画

女性がいきいきと働くことができる鹿児島を目指して

鹿児島県では、平成29年3月末に策定しました「鹿児島県女性活躍推進計画」において2つの重点目標を設定し、その達成に向けて積極的に取り組んでいます。

- ① 働く女性が能力を発揮していきいきと活躍できる環境づくり ② 男女がともに働きやすい環境づくり

女性の活躍推進に向けた主な取組等

女性活躍の気運醸成と「見える化」

- 鹿児島県女性活躍推進会議の開催
- 企業トップや管理職向けセミナーの開催
- 女性活躍推進優良企業の表彰
- 女性活躍推進宣言企業の登録

女性の能力発揮の支援

- 女性のキャリアアップ支援
- 働きたい女性等の再就職支援
- 起業家スタートアップ支援
- 女性農業者ビジネスサポート

子育て支援環境の整備

- 保育所等の整備促進
- 放課後児童クラブの整備促進
- 事業所内保育施設の設置促進

働き方改革の推進

- 子育て応援企業の登録
- 知事等によるイクボス宣言
- 働き方改革セミナーの開催

男性の家事・育児等への参画促進

- 男性の家事・育児応援サイトの運営
- イクメン養成講座の開催
- 男性向けセミナーの開催



10

鹿児島県女性活躍推進会議

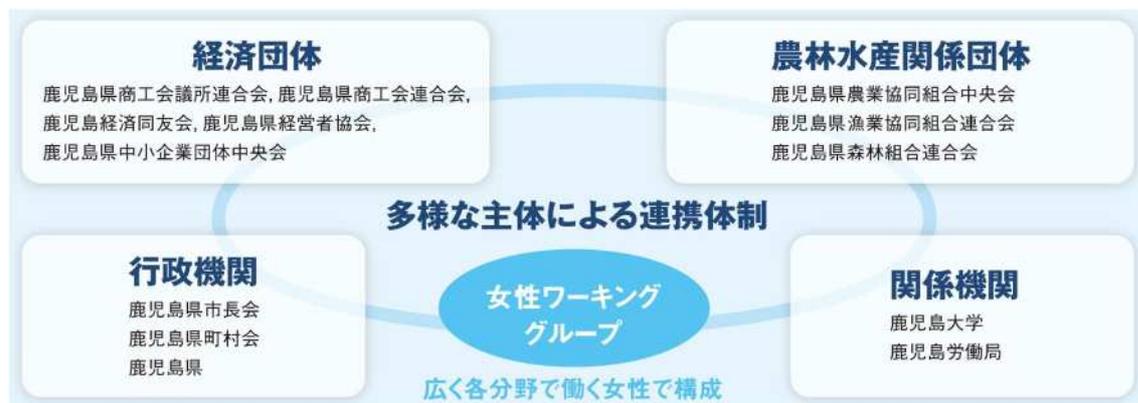
女性の活躍推進に向けて、経済団体や行政など多様な主体による連携体制を構築するため、平成28年6月24日、「鹿児島県女性活躍推進会議」を設立しました。

設立の趣旨

女性がその個性と能力を十分に発揮して活躍し、男女がともに安心して生き生きと働くことができる「鹿児島」の実現を目指し、多様な主体が連携して本県における女性活躍の取組を加速化する。

企業、団体、行政が一体となった取組の推進

- 女性の活躍推進の気運醸成
- 女性の能力が十分に発揮でき、活躍できる環境整備
- 女性が働き続けられるための環境整備



11

女性ワーキンググループ 鹿児島県独自の取組

県内企業の30代・40代の働く女性を 中心とした女性ワーキンググループにおいて、女性活躍推進に係る地域の実情に応じた効果的な取り組みについて意見交換を行い、女性活躍推進の事業に反映させています。

【構成企業】

(株)鹿児島銀行, (株)唐船峡食品, 南風病院, 鹿児島製茶(株), 康正産業(株), J A鹿児島県女性組織協議会, 城山観光(株), (株)タイヨー, 中江報徳園, 富士ゼロックス鹿児島(株), 洲上印刷(株), (株)山形屋

平成29年度の活動

- 第1回目 (H29.4.28)
 - ・小林副知事による講話「女性活躍に向けて」、グループ毎の意見交換
 - ・29年度事業計画についての意見交換
- 第2回目 (H29.5.26)
 - ・ロールモデル提供セミナーの具体的な内容について協議
- 第3回目 (H29.9.14)
 - ・オフィスピュア ワークショップデザイナーの高崎恵さんによる多様性について考えるワークショップ
 - ・ロールモデル提供セミナーにおいて女性ワーキンググループのメンバーにより行うトークセッションの具体的な内容について協議
- ロールモデル提供セミナー「私の働き方を考える～教えて先輩 聞かせて先輩～」の実施 (H29.9.27)
 - ・オフィス藤田(有)取締役 古城順子氏による講演「互いの幸せのために、一人ひとりの尊厳に気づき向き合おう」
 - ・女性ワーキンググループのメンバーによるトークセッション、フリートーク



【参加者の意見】

- ・今までで一番生の声が聞けた
- ・世代も職種も異なる人たちとお話できてとてもよかった

参考 今後予定の女性向けセミナー等

- 働く女性の異業種交流会 (2月予定)
- キャリアデザインセミナー (1～2月予定)
- 学生のためのエンパワメントセミナー (2月予定)



12

どんどん鹿児島女性の活躍応援団（1）

結成の背景

鹿児島県においては、働く女性が多い一方で、結婚、出産・育児を理由に離職する女性が多いことや、管理的地位に占める女性の割合が低いなど、女性が十分に力を発揮できていない状況がある

〔参考〕

- ・女性の管理職登用に消極的な経営者が半数を占める。（本県企業実態調査）
- ・女性活躍推進に係る取組が企業トップ等に浸透していない。今後とも、企業トップ等の意識改革を図ってほしい。（平成30年5月開催「鹿児島県女性活躍推進会議」における意見）

鹿児島県女性活躍推進計画に基づき、女性の活躍推進に向けた取組を進めているところであるが、中小企業では、女性活躍推進法に基づく行動計画の策定が努力義務であるなど、取組が進んでいない。



企業における女性の登用や働き方に対する意識改革に加速化して取り組むためには、県内経済界に大きな影響力を持つリーダーのコミットメントが不可欠

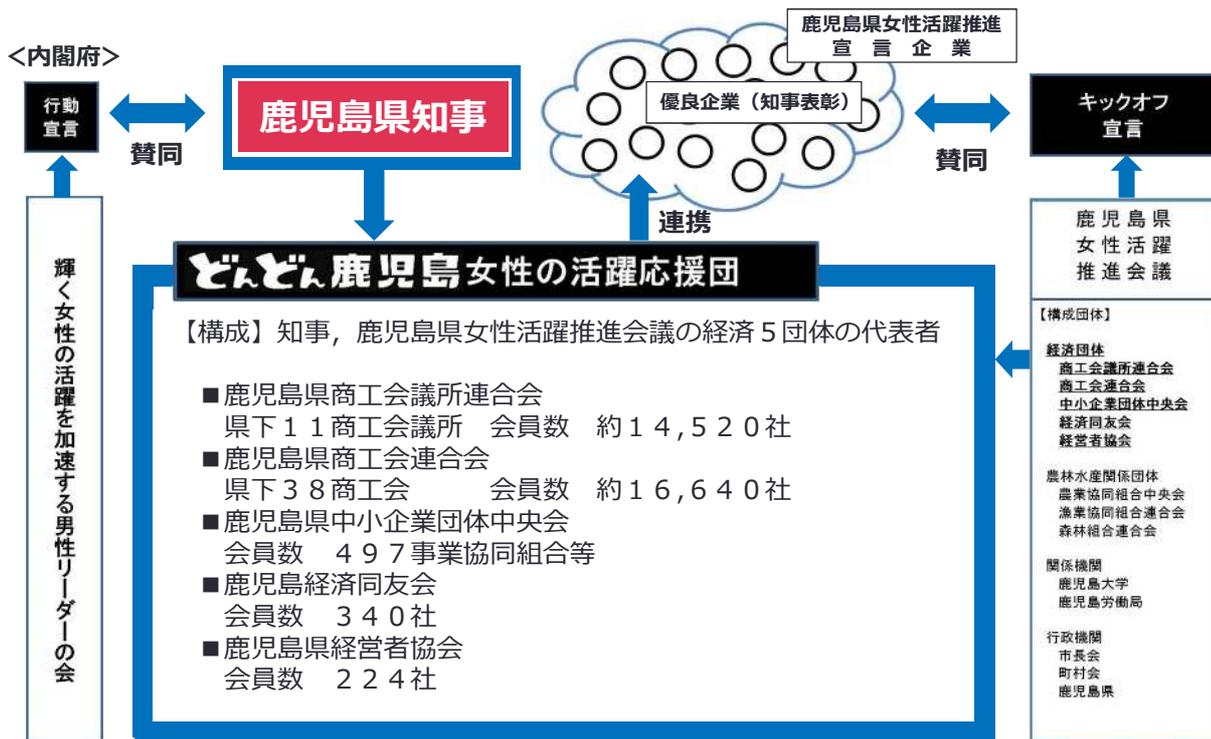
参考 鹿児島県の女性活躍推進法に係る一般事業主行動計画策定届出状況（平成30年9月）

常時雇用労働者	企業数	届出企業数	届出率
301人以上の企業	170	169	99.4%
300人以下の企業	57,697	44	0.076%

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業（平成30年9月30日現在）
 全国で698社認定、うち本県 2社

13

どんどん鹿児島女性の活躍応援団（2）



14

どんどん鹿児島女性の活躍応援団（3）

三反園訓知事と鹿児島県女性活躍推進会議の経済5団体の代表者との間で「どんどん鹿児島女性の活躍応援団」が結団の運びとなり、平成30年7月30日に結団式を開催しました。

設立の趣旨

女性活躍を加速するためには、組織トップのコミットメントが重要であり、知事と経済5団体の代表者が一緒になって女性活躍の推進を表明することで、女性がいきいきと働くことができる鹿児島を一丸となって目指すものです。

本応援団の結団を契機に、女性活躍の取組を進め、活躍状況の「見える化」を図り、県内全体に拡大するよう取組を展開してまいります。

応援団メンバー（敬称略）

三反園 訓（鹿児島県知事）
岩崎 芳太郎（鹿児島県商工会議所連合会会長）
森 義久（鹿児島県商工会連合会会長）
小正 芳史（鹿児島県中小企業団体中央会会長）
津曲 貞利（鹿児島経済同友会代表幹事）
諏訪 健彦（鹿児島県経営者協会会長）



どんどん鹿児島女性の活躍応援団 行動宣言

どんどん鹿児島女性の活躍応援団は次の取組を実践することを宣言します。

I
私たちは、女性の活躍を一層推進するため、その必要性について明確で具体的なメッセージを発信します。

II
私たちは、女性活躍に向けた取組を進めるとともに女性活躍状況の「見える化」を図ります。

III
私たちは、団員各々がネットワークを広げ、好事例の発信により県内全体への拡大を支援します。

平成30年7月30日

鹿児島県知事 岩崎芳太郎 鹿児島県商工会議所連合会会長 森義久 鹿児島県商工会連合会会長 小正芳史 鹿児島県中小企業団体中央会会長 津曲貞利 鹿児島経済同友会代表幹事 諏訪健彦 鹿児島県経営者協会会長

15

どんどん鹿児島女性の活躍応援団（4）

行動宣言の内容

- (1) 先頭に立ち発信する
女性の活躍を一層推進するため、その必要性について明確で具体的なメッセージを発信する
- (2) 「取組」を進め、「見える化」を図る
女性活躍に向けた取組を進めるとともに、女性の活躍状況の「見える化」を図る
- (3) 県内全体への拡大を支援する
団員各々がネットワークを広げ、好事例の発信により県内全体への拡大を支援する

行動宣言後の取組

- 団体のトップとして、経営における女性活躍の重要性や女性活躍に取り組む旨を表明し、全会員へ周知するとともに、ホームページ等への掲載や各種会合において発信する
- 団体における好事例をホームページ等で発信し、女性活躍状況の「見える化」を進める
- 県主催や希望する企業、団体のセミナーにおける事例発表等に協力し、県内全体への拡大を支援する

16

どんどん鹿児島女性活躍応援団（5）

県の主な取組

- ① 県政初となる女性副知事の登用
- ② 県政初となる本庁部局長への女性職員2名の登用
- ③ 第3次県男女共同参画基本計画（H30～H34）に数値目標を設定
※女性活躍推進法に基づく鹿児島県特定事業主行動計画における数値目標

女性職員	管理的地位に占める割合	6.5%（H29）	→	15%（H37）
男性職員	出産補助休暇の年間取得者数の割合	94.8%（H28）	→	100%（H31）
	育児参加休暇の年間取得者数の割合	84.4%（H28）	→	100%（H31）
	育児休業の取得割合	2.1%（H28）	→	10%（H31）
- ④ 「イクボス宣言」の実施（知事，副知事，部局長）
- ⑤ 知事と語ろう車座対話など，様々な機会において，女性活躍の必要性や女性活躍に取り組む旨のメッセージを発信

17

どんどん鹿児島女性活躍応援団（6）

今後の展開

<次年度事業構想>

企業トップ等の意識改革と次のステップを支援

- 女性活躍推進の取組を中小企業等へ普及するため，企業トップ等の意識改革に重点を置き取り組む。
- 女性活躍の必要性について理解を深め，具体的に取り組む中小企業に対し，実情に応じた採用・定着・育成・登用に資する取組を支援する
(女性活躍推進のための社内研修，一般事業主行動計画策定，制度改善 等)

18

最後に・・・

女性の活躍が未来の力になる

～女性が個性と能力を発揮し、男性も女性もともに安心して
いきいきと働くことができる鹿児島の実現を目指して～

ご清聴ありがとうございました。